

《講演者プロフィール》



ケビン・フランチェスコニ博士

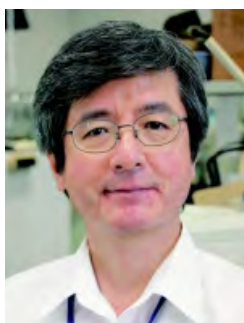
(Dr Kevin Francesconi)

略歴

ケビン・フランチェスコニ博士は、1974年に豪州カーティン工科大学を卒業後、西オーストラリア大学で博士号を取得された。

1976年から、西オーストラリア海洋研究所 (Western Australian Marine Research Laboratories) で、分析化学、次いで環境化学の研究者として勤務された後、1996年から2001年までは、デンマーク・南デンマーク大学で准教授を務められた。その後、2001年からは、オーストリア・グラーツ大学で勤務されており、2002年に現職 (分析化学担当教授) に就任された。

同博士の研究は、環境及び人を含む生体における金属の生体内変化の基本的なプロセスを研究することを目的とした、化学的かつ分析学的方法の開発及び応用を主に対象としている。特に天然物に存在するヒ素化合物に関する世界的権威であり、これまでも極めて優れた種々の業績をあげてこられている。



花岡 研一 教授
(はなおか けんいち)

略歴

花岡教授は、1974年に鹿児島大学水産学部を卒業後、九州大学農学部で博士号を取得された。1982年から水産大学校に勤務され、食品化学分野の研究をされている。

教授は、生物元素の機能性及び安全性がご専門で、水産食品中の安全なヒ素化合物と機能性、ヒ素化合物が無毒化されるメカニズム、食品中のヒ素化合物の正確な抽出と測定等の研究を行われており、多くの優れた業績をあげてこられている。



圓藤 吟史 教授
(えんどう ぎんじ)

略歴

圓藤教授は、1981年に名古屋市立大学医学部を卒業後、大阪市立大学で医学博士号を取得された。1983年から大阪市立大学医学部で衛生学、環境衛生学、産業医学分野にて勤務されている。

教授は、海産食品に含まれるヒ素化合物の検出、職業由来による疾病、特に有害物質による中毒の予防に関する研究を行われており、産業保健中毒学、産業疾学、環境医学の分野の研究に取り組みされており、数々の優れた業績をあげてこられている。また、2004年より食品安全委員会の専門委員としてご尽力をいただいている。